

TOSHIBA

2022年度 第2四半期決算説明資料

東芝テック株式会社

2022年11月10日

目次

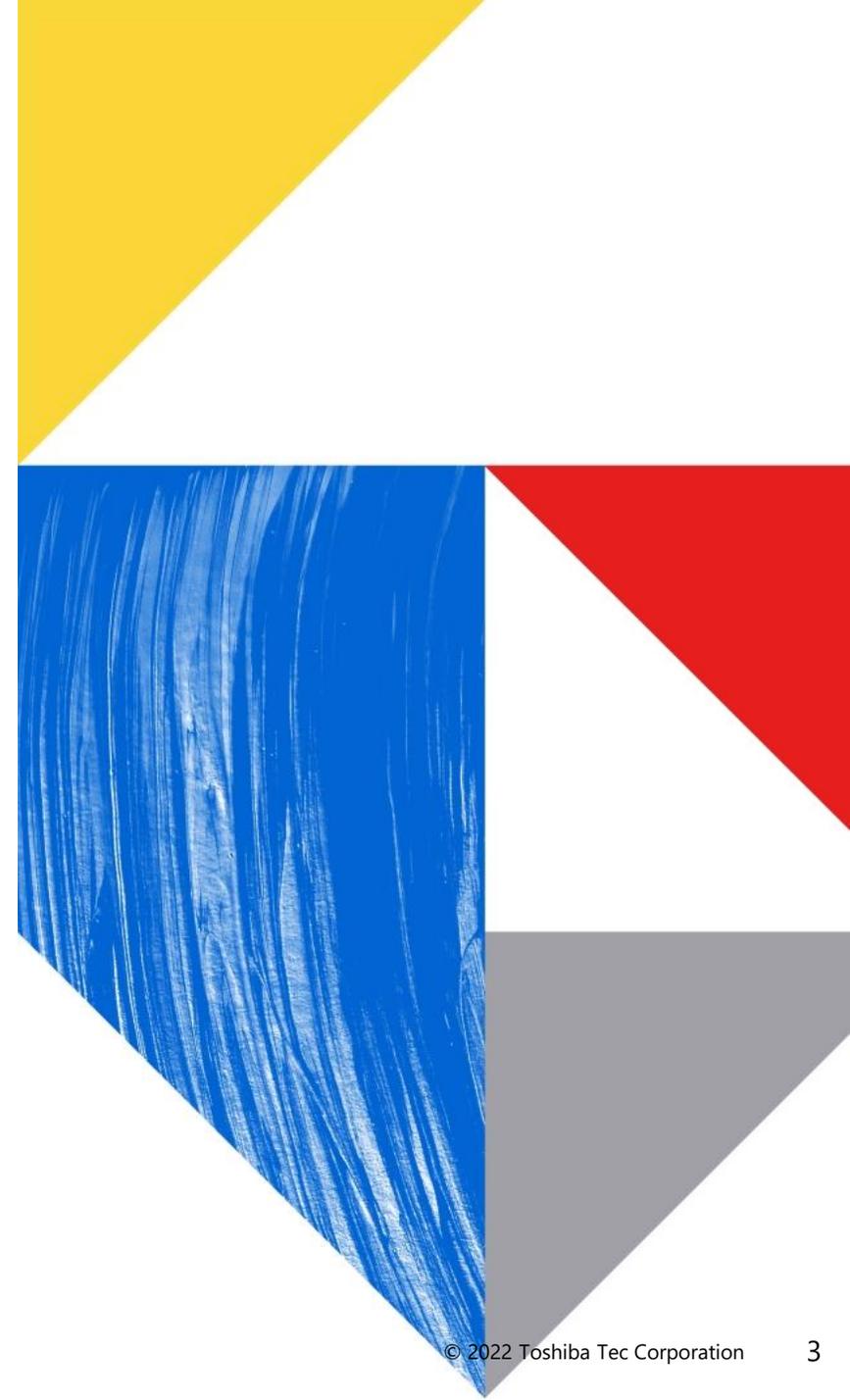
01 Key Messages

02 2022年度 第2四半期（上期）決算

03 2022年度 業績見通し

01

Key Messages



Key Messages

世界的な部品及び国際貨物輸送の供給逼迫、それらに伴う価格高騰の影響が 期初想定から悪化

外部環境変化による損益インパクト： 上期△52億円（対見通し△16億円）

2022年度上期は2Q業績改善により、営業利益は（対前同）増益

厳しい外部環境の中、2Qの海外リテール事業の業績改善により、2022年度上期の営業利益は+16億円の増益

営業外損失、特別損失により（対前同）減益

急激な円安による為替関連費用などにより営業外損失△32億円、特別損失△70億円を計上

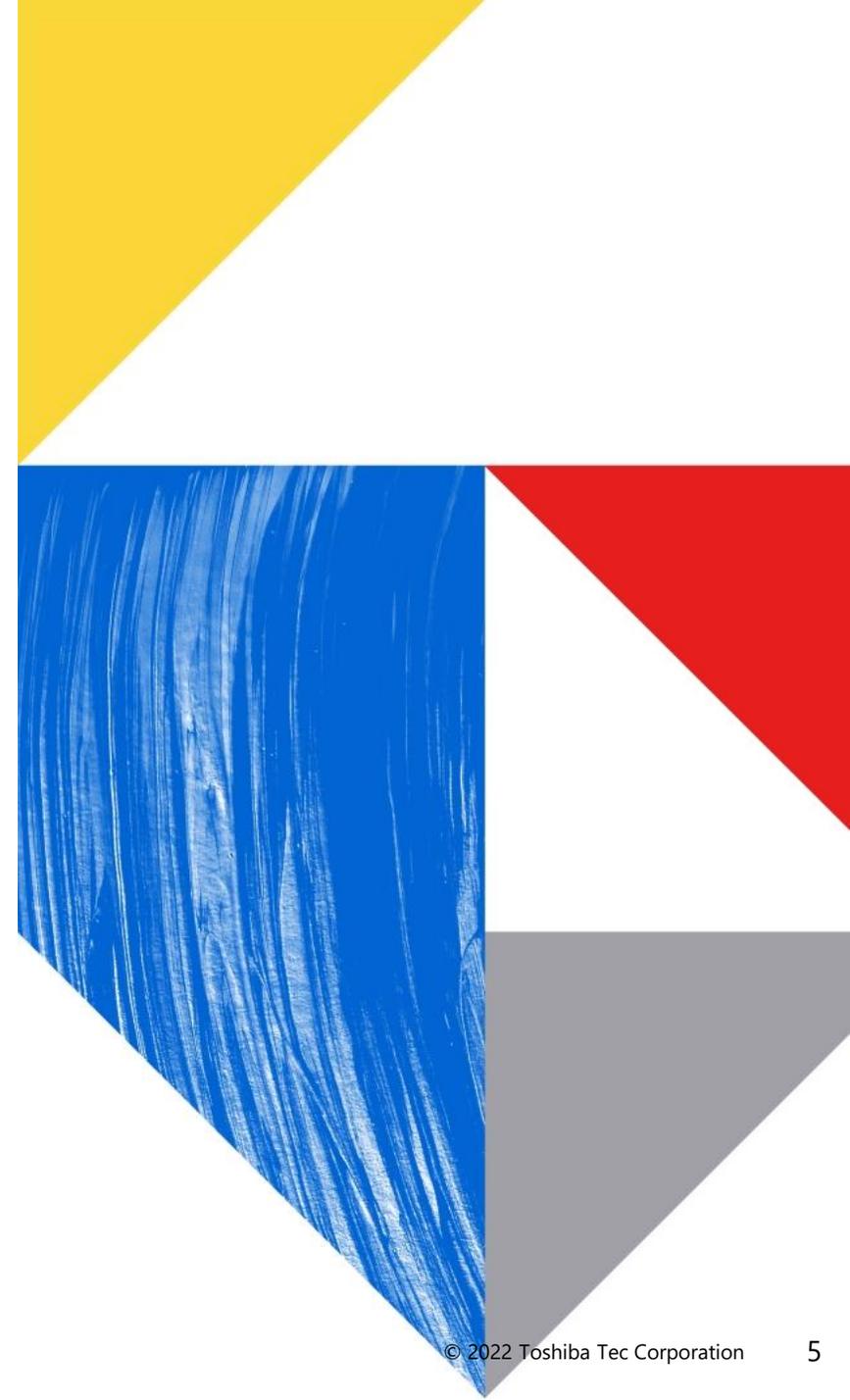
年間配当は21年度同額の40円

上期は純損失も、下期に業績回復を見込む。

2022年度の配当は中間配当20円、期末配当20円と合わせ21年度同額の40円を計画

02

2022年度 第2四半期（上期）決算



2022年度上期 業績

(単位：億円)

		2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	差異 対前同
売上高		2,439	2,170	+269
営業利益		60 (対売上高比率) (2.4%)	43 (2.0%)	+16
経常利益	為替関連費用など △24	28 (対売上高比率) (1.1%)	31 (1.4%)	△3
親会社株主に帰属する 四半期純損失	特別損失 △70	△64 (対売上高比率) (-%)	25 (1.1%)	△88
配当		20円	20円	-
為替レート(円)	US\$	131.59	109.89	+21.70
	EUR	138.21	131.15	+7.06

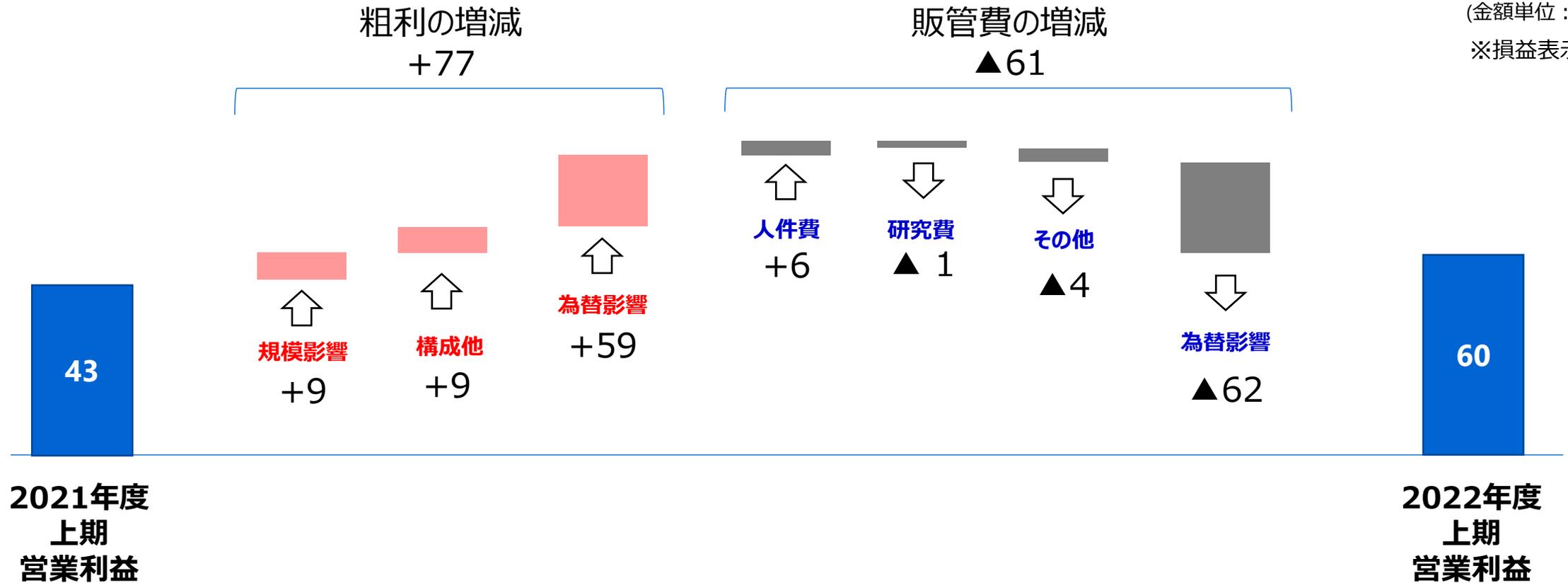
2022年度上期 業績

(単位：億円)

	2022年度 1Q実績	2022年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	差異 対2Q
売上高	1,093	1,346	1,099	+247
営業利益 (対売上高比率)	2 (0.2%)	58 (4.3%)	10 (0.9%)	+48
経常利益 (対売上高比率)	△23 (-%)	50 (3.7%)	3 (0.3%)	+47
親会社株主に帰属する四半期純損失 (対売上高比率)	△22 (-%)	△42 (-%)	△2 (-%)	△40
為替レート(円)	US\$	126.51	136.62	+26.63
	EUR	136.75	139.66	+9.19

2022年度上期 営業利益の増減分析

(金額単位：億円)
※損益表示

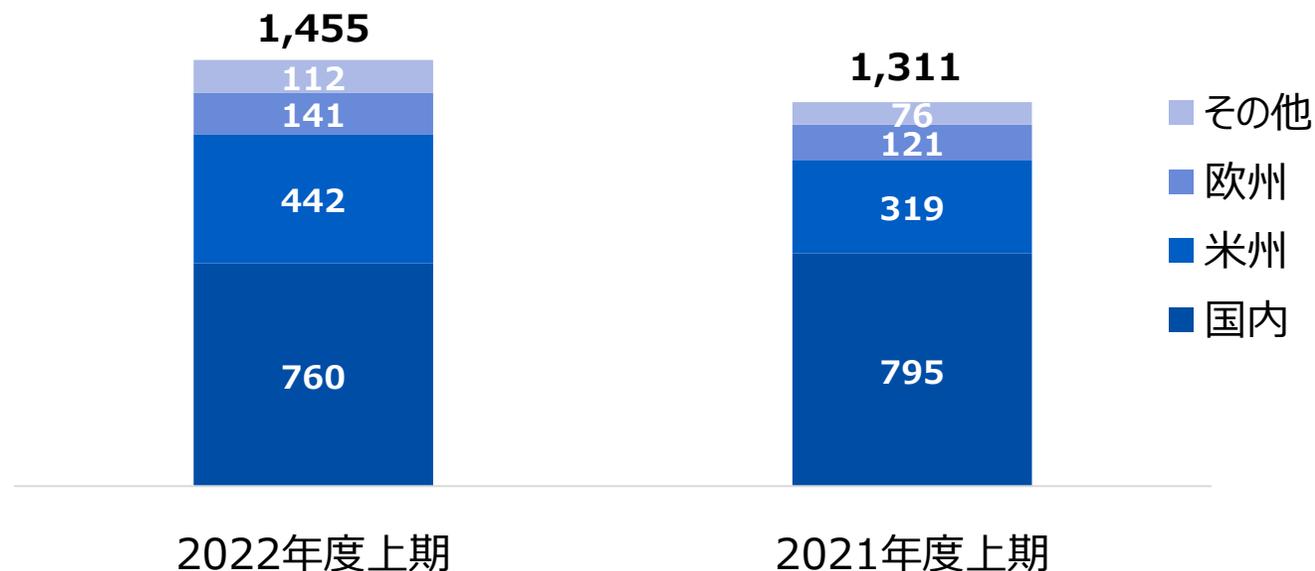


セグメント情報 2022年度上期業績

(単位：億円)

	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	差異 対前同
売上高	1,455	1,311	+144
営業利益 (対売上高比率)	49 (3.3%)	57 (4.3%)	△8

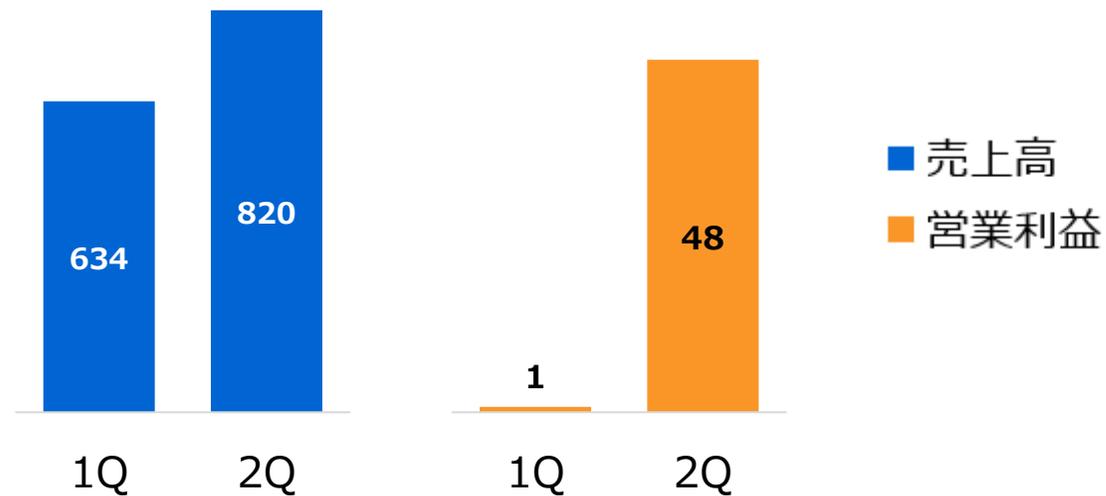
リテール
ソリューション



セグメント情報 2022年度上期業績

(単位：億円)

	2022年度 1Q実績	2022年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	差異 対2Q
リテール ソリューション	売上高	634	662	+159
	営業利益 (対売上高比率)	1 (0.1%)	48 (5.8%)	+23 (3.4%)

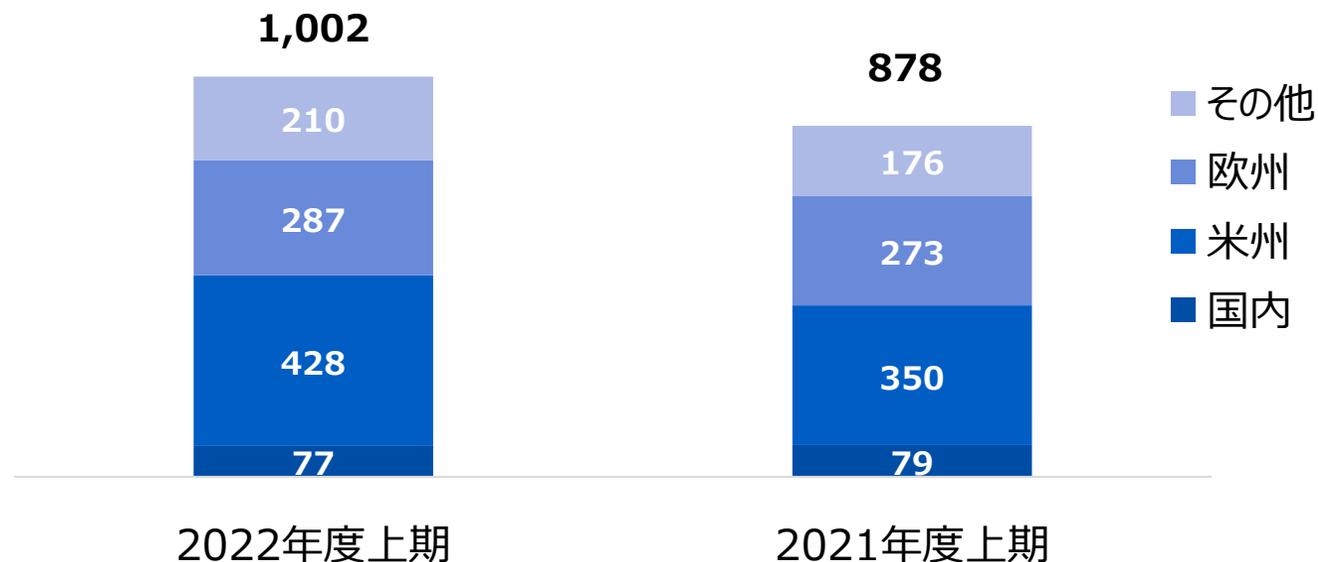


セグメント情報 2022年度上期業績

(単位：億円)

	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	差異 対前同
売上高	1,002	878	+123
営業利益 (対売上高比率)	11 (1.1%)	△14 (-%)	+25

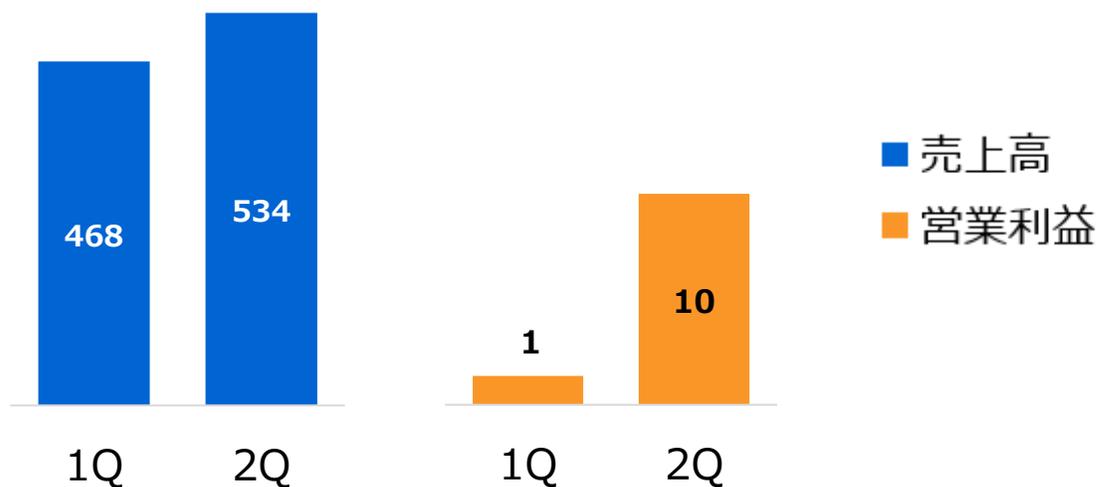
ワークプレイス
ソリューション



セグメント情報 2022年度上期業績

(単位：億円)

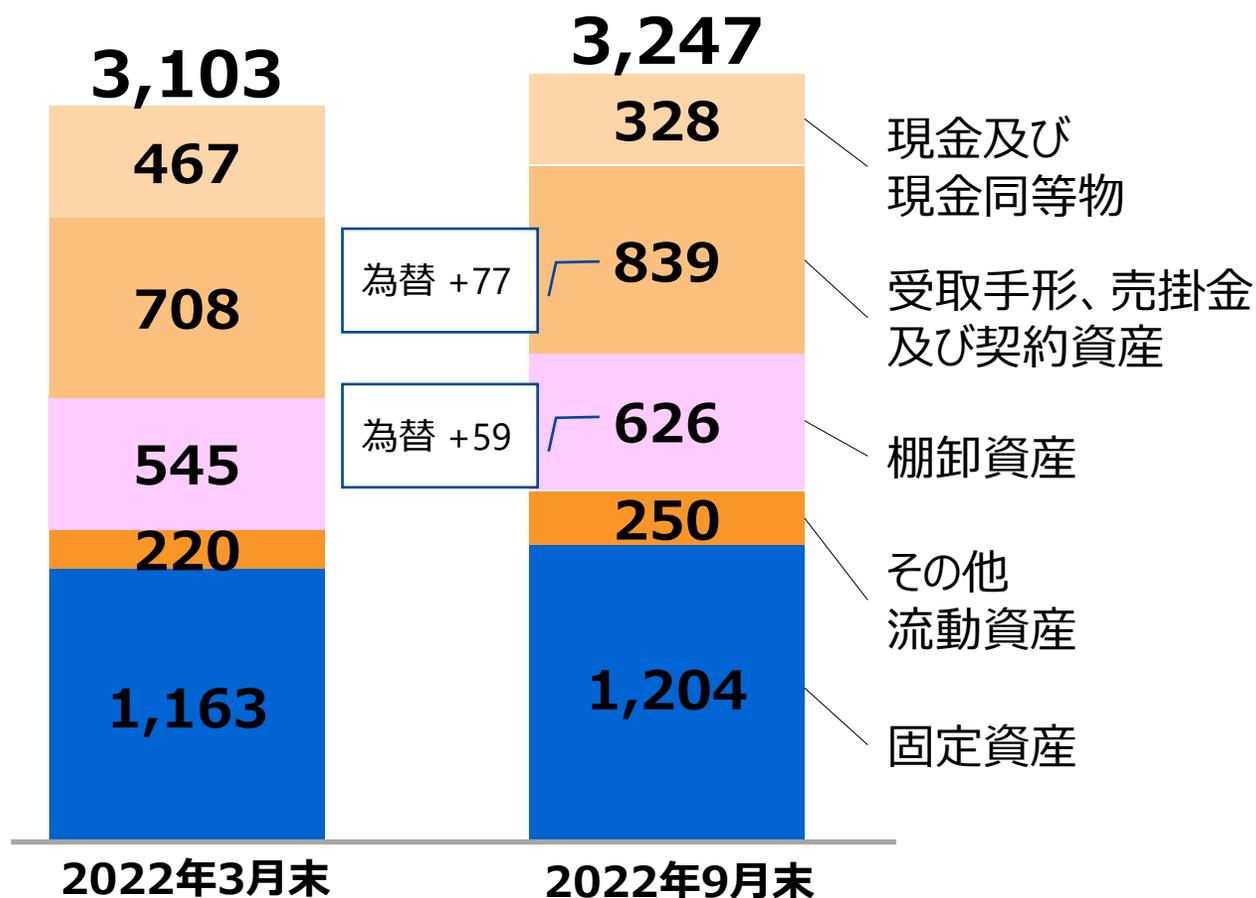
	2022年度 1Q実績	2022年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	差異 対2Q
ワークプレイス ソリューション	売上高	468	447	+87
	営業利益 (対売上高比率)	1 (0.3%)	10 (1.8%)	△12 (-%)



貸借対照表

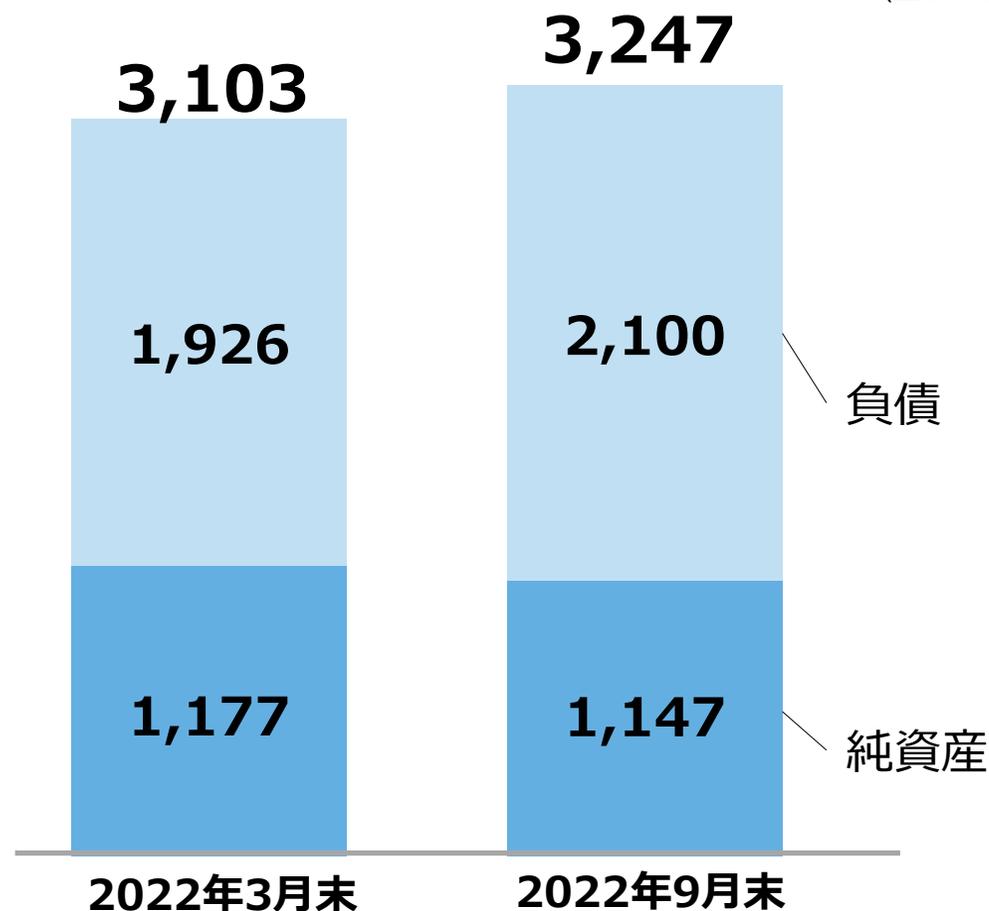
当四半期純損失計上により株主資本減少、自己資本比率は微減

資産



負債及び純資産

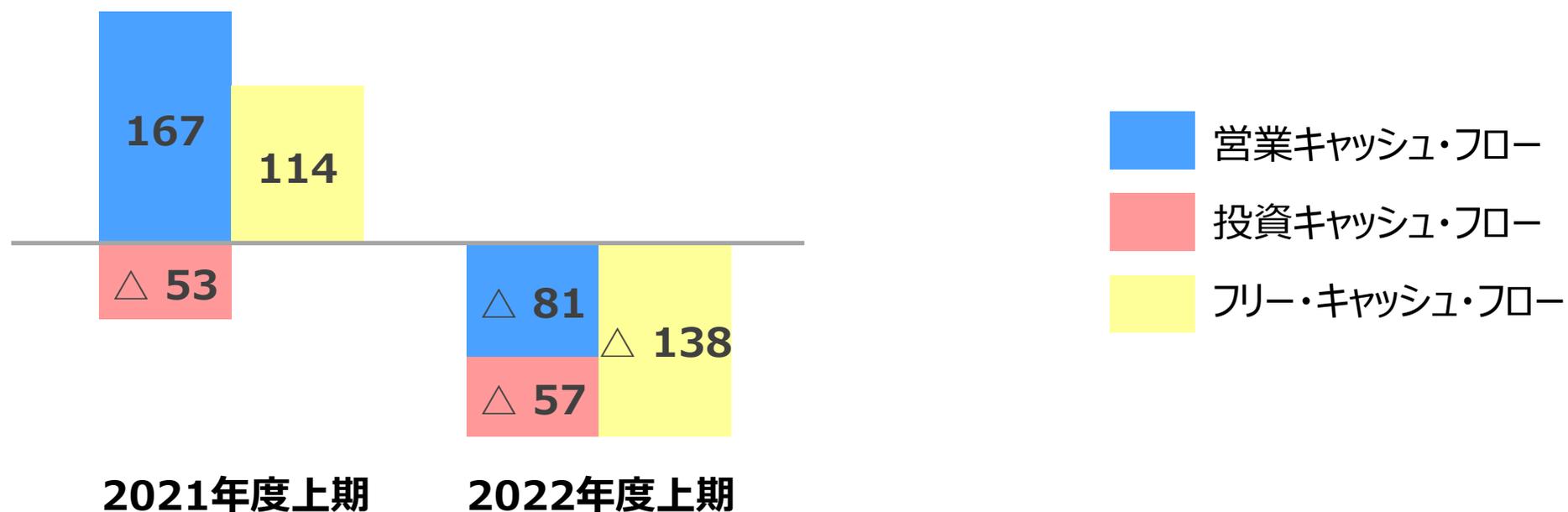
(金額単位：億円)



2022年度上期 キャッシュ・フロー

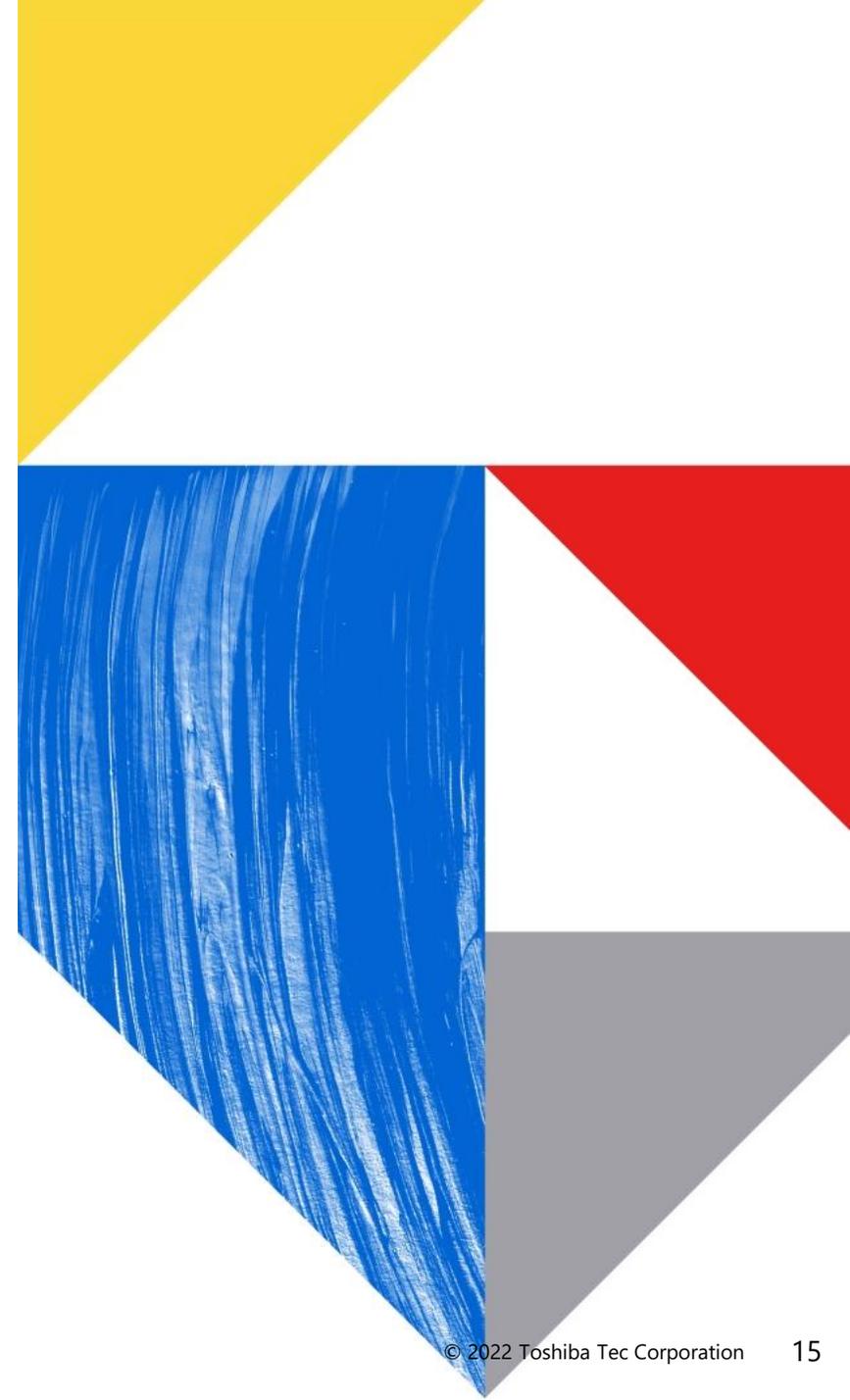
営業キャッシュ・フローの悪化に伴い、フリー・キャッシュフローマイナス

(単位：億円)



03

2022年度 業績見通し



2022年度 業績見通し

(単位：億円)

		2022年度	2022年度	2021年度	差異	
		今回予想 【上期/下期】	前回予想(5/11)	実績 【上期/下期】	対前回予想	対前年度
売上高		5,200 【2,439/2,761】	4,500	4,453 【2,170/2,283】	+700	+747
営業利益		140 【60/80】	180	116 【43/72】	△40	+24
	(対売上高比率)	(2.7%)	(4.0%)	(2.6%)		
経常利益		100 【28/72】	155	102 【31/71】	△55	△2
	(対売上高比率)	(1.9%)	(3.4%)	(2.3%)		
親会社株主に帰属する 当期純利益/純損失		△25 【△64/39】	80	54 【25/29】	△105	△79
	(対売上高比率)	(-%)	(1.8%)	(1.2%)		
配当		40円 【20円/20円】	50円	40円 【20円/20円】	△10円	-
為替レート(円)	US\$	136.19*	120.00	112.05	+16.19	+24.14
	EUR	137.23*	135.00	130.54	+2.23	+6.69

*2022年度今回予想の下期為替レートはUS\$140円、EUR135円です。

セグメント情報 2022年度業績見通し

(単位：億円)

		2022年度 今回予想 【上期/下期】	2022年度 前回予想(5/11)	2021年度 実績 【上期/下期】	差異	
					対前回予想	対前年度
リテール ソリューション	売上高	2,970 【1,455/1,515】	2,650	2,670 【1,311/1,359】	+320	+300
	営業利益	100 【49/51】	115	106 【57/49】	△15	△6
	(対売上高比率)	(3.4%)	(4.3%)	(4.0%)		
ワークプレイス ソリューション	売上高	2,280 【1,002/1,278】	1,950	1,821 【878/943】	+330	+459
	営業利益	40 【11/29】	65	10 【△14/23】	△25	+30
	(対売上高比率)	(1.8%)	(3.3%)	(0.5%)		

戦略パートナーシップの更なる拡充

東芝テック、DGおよびカカクコムで飲食・小売業界のDX推進に向けた基本合意書を締結
～第一弾：オーダーリンクージ×「食ベログオーダー」～

 **Digital Garage Group** × **Toshiba Tec Corporation**

 **食ベログオーダー**



東芝テック
OrderLinkage

戦略パートナーシップの更なる拡充

東芝テック、トライアルグループのRetail AI 両社のアセットを活用し、世の中にカートPOSを普及させ、生活者へ“便利なお買い物体験”をお届けいたします。

環境変化

人手不足や賃金上昇、生活者のニーズ多様化

小売事業者様

課題

- 店舗運営の効率化
- 店舗の魅力を高める新たな顧客体験の創造

スマート
ショッピングカート
&
ELERA

協業方針

Retail AI社のスマートショッピングカートとELERAを連携し、両社のアセットを共有

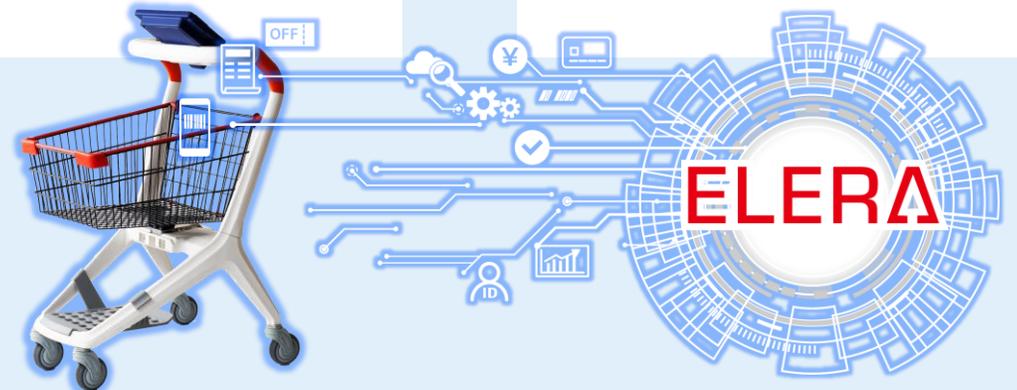
Retail Ai

- スマートショッピングカートによる、業務効率化および、収益化ノウハウ

TEC
WILL makes Value

- トップシェアの顧客網
- 導入から保守までのサポート体制

&



グローバル戦略の推進

ELERAを核とした新規ソリューション群の拡充を目指し新規に米国に拠点設立

米国拠点概要

稼働開始 : 2022年秋

所在地 : 3201 Dallas Parkway, Frisco, テキサス, 米国
ソフトウェア開発が盛んなダラス地域に設立

活動内容 : ELERAに関する事業開発
SaaS*を見据えマイクロサービスを含むクラウド関連開発等

*SaaS(Software as a Service):
クラウド上で作られたソフトウェアやアプリケーションをインターネット経由で利用できるサービス



Photo Credit: Robert Tsai Photography.

戦略

- クラウド開発、コンピュータビジョンやIoT分野への投資を通して成長戦略の加速を図る
- 小売り業界への革新を生み出すために技術的パートナーシップへのコミットメントを強化する
- M&A専門チームの新設など、資本投資の幅を広げる

電子レシートサービス「スマートレシート®」会員数100万人を突破！

2022年10月26日に会員数100万人を達成

News Release **TOSHIBA**

2022年10月27日

東芝テック株式会社
東芝データ株式会社

電子レシートサービス「スマートレシート®」
会員数 100 万人を突破！



スマートレシート
会員数
100万人
突破！

東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：錦織弘信、以下「東芝テック」）が開発、運営し、東芝データ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：北川浩昭、以下「東芝データ」）が運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート®」について、会員数が2022年10月26日に100万人を突破しました。

「スマートレシート®」は、会計時に通常は紙で提供される購入商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターでデータとして管理、提供するサービスです。利用者はスマートフォンからいつでも購入履歴の確認・管理ができ、買い物における利便性の向上につながることも、導入店舗では紙レシートの発行コストや環境負荷を低減することが可能です。

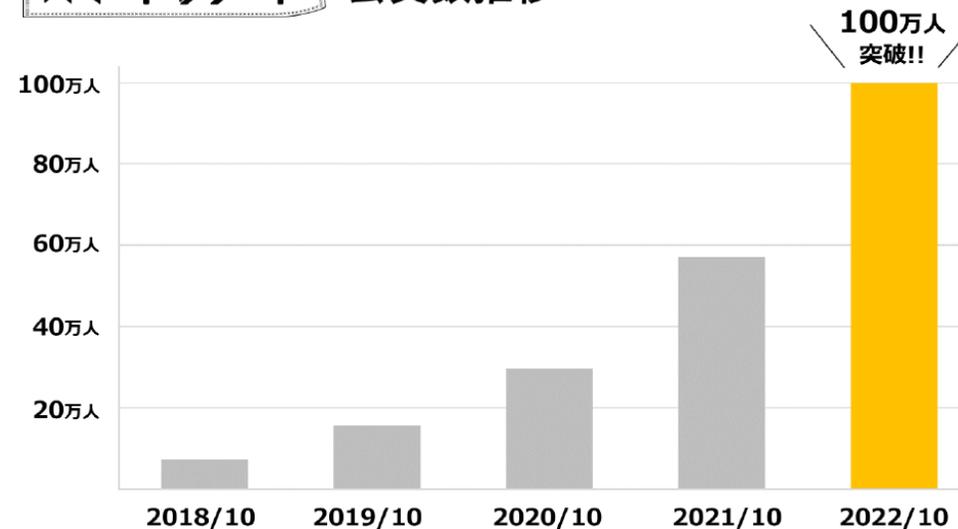
「スマートレシート®」は新型コロナウイルス感染症拡大による非接触ニーズの増加や社会のDX推進等に後押しされ、この2年で会員数が約3.4倍と急速に普及拡大し、加盟店は363社、12,111店舗に上っています。（2022年10月26日現在）

1

新型コロナウイルス感染症拡大による非接触ニーズの増加や社会のDX推進等に後押しされ、会員数が急速に増加

- 直近2年で会員数が約3.4倍に増加
- 加盟店 363社、12,111店舗（2022年10月26日現在）

スマートレシート 会員数推移



Appendix

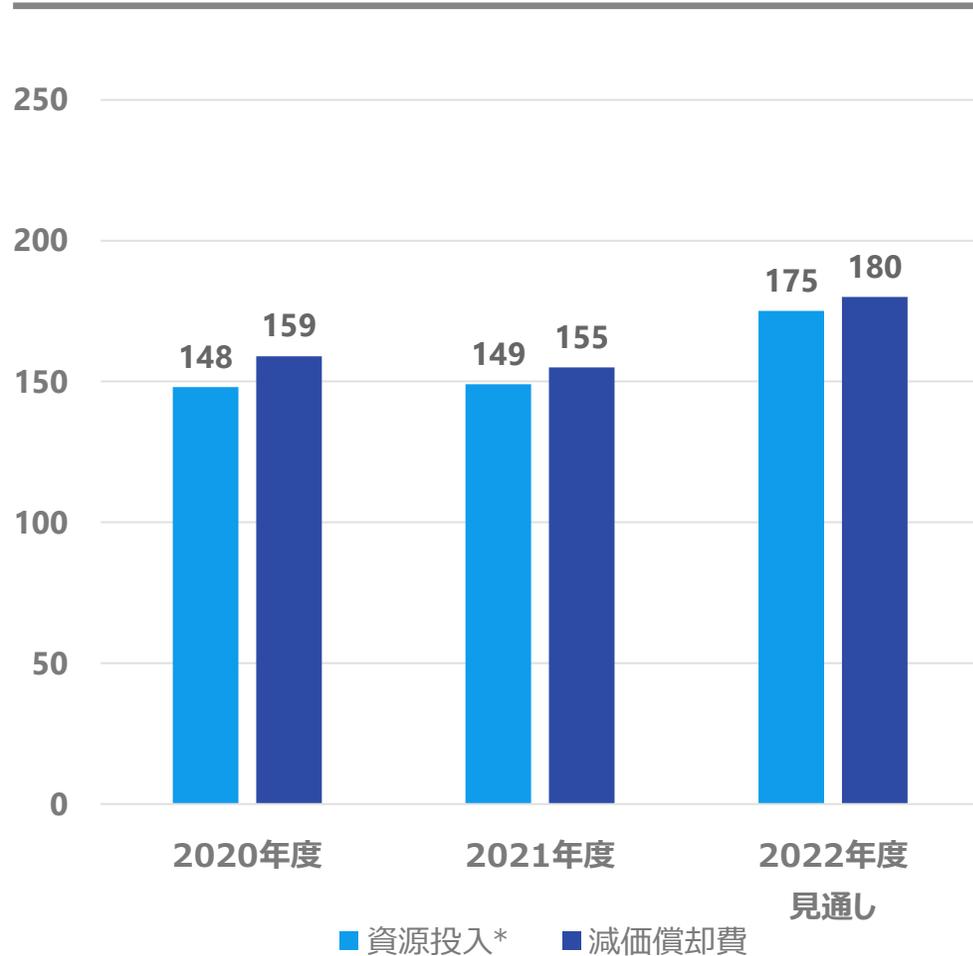
2022年度見通し 為替の影響

	前提為替レート	1円円安の場合の影響額	
	2023年3月期 (下期)	売上高 (年間)	営業損益 (年間)
US\$	140円	+ 17億円	△ 1億円
EUR	135円	+ 3億円	+ 1億円

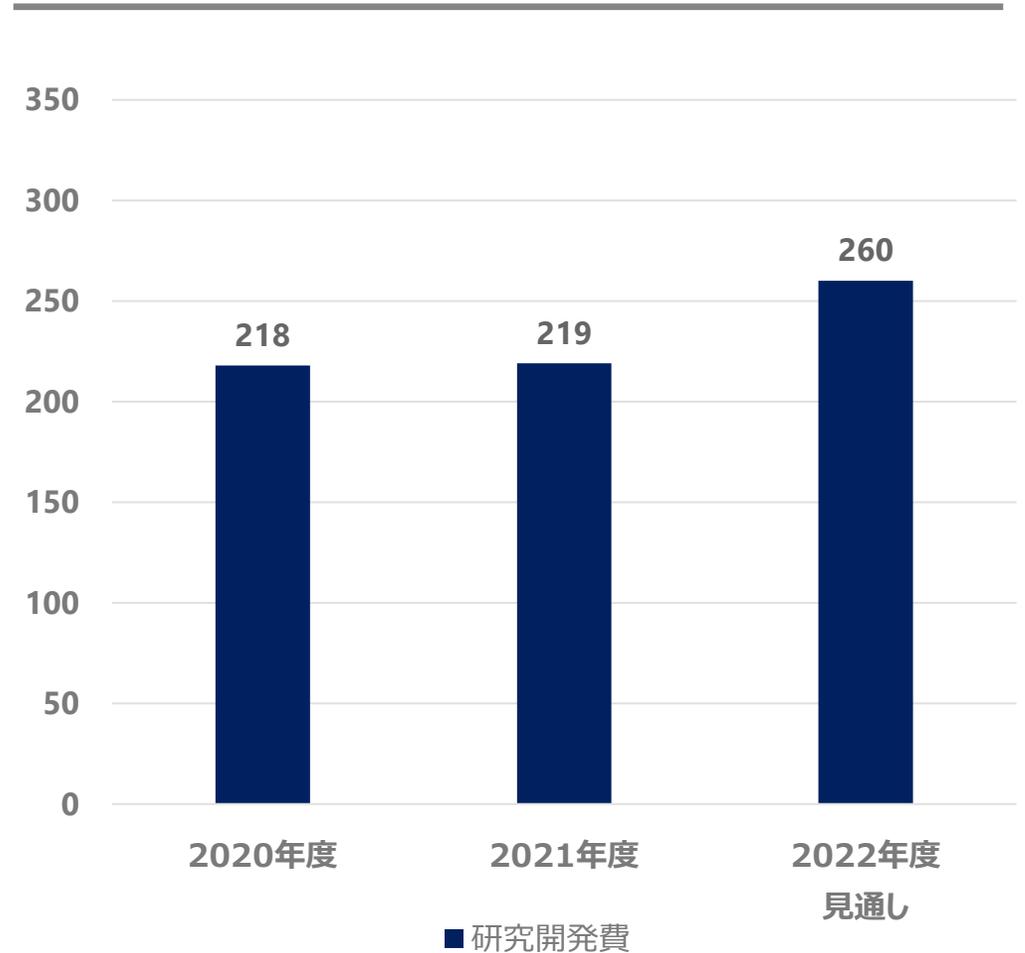
2022年度見通し 資源投入*・減価償却費 研究開発費

(単位：億円)

資源投入*・減価償却費



研究開発費



*有形固定資産及び無形固定資産の増加額

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

TOSHIBA

